

五島南高新聞

発行所
長崎県立五島南高等学校
住 所
長崎県五島市岐宿町
川 原 3487
☎(0959)82-0132

主体性を育むために

校長 小西 仁

予測困難な社会を生き抜くために、生徒たちの「主体性」を育む重要性が高まっています。

学習指導要領でも「主体的・対話的で深い学び」がうたわれる中で、本校でもその実現に向けて、生徒が「何ができるようにするか」「何を学ぶか」「何を学ぶか」を明確にし、「何を学ぶか」という学習内容、「どのよう」に学ぶか」という学びの過程を意識しながら、「教科書を教える」ことから「教科書で教える」ことへの変換を行い、主体性の育成に努めています。

主体性を考えるときに、混同しやすいのが自主性です。いろいろな定義があるかもしれませんが、次のように考えています。

【自主性】自分が取るべき行動に対して、他人に指示される前に自ら実行すること

(例) 勉強をしない！と言われる前に、宿題に取り組む

【主体性】自ら目的を設定し行動する力のこと

(例) 前回のテストの点数よりもいい点数を取るために、自分に適した勉強計画を立て、実行する

主体性の育成が求められる学校現場では、自発的な行動がない「指示を待つ」、「受動的」という言葉にネガティブなイメージがあります。しかし、指示されたことにしっかりと取り組み、やり遂げていくことは評価ができることです。一般的な知識・技能の習得は必要であり、習得しなければならぬ量も決まっています。学校生活の中で伝達される指示の多くは、この知識・

技能の獲得に向けたものがほとんどです。これらの獲得なしに、自主性や主体性は生まれないと考えています。これらを獲得する過程(学び方)について、それぞれの生徒が自分に合った方法を考え選択することが、学校で身につけたい主体性だと考えています。

新しい考えを受け入れようとすると、以前までの方法をすべて見直さなければという感覚に陥ります。しかし、漢字の書き取りや計算練習は、作業のように黙々と繰り返し取り組むことでしか上達しないと思っています。必要な知識・技能の獲得のためには、個人の意思に関係なく「やりたくななくても、やらなければならぬこと」はまだまだ存在します。

変化していく社会に対応できる人材を育成していくために、これまでのよい実践を参考にしながら、新しい教育を取り入れ、「学び続ける五島南」でありたいと思います。

長崎県PTA定期総会 に出席して PTA会長 馬場 仁志

五月二三日(金)、長崎勤労福祉会館において開催された、令和七年度長崎県公立高等学校PTA定期総会及び研修会に出席してきました。

昨年度のPTA活動報告、本年度の予算や事業計画の報告を受けた後、研修会では、昨年度と同様『本領発揮に導く言葉掛けペップトーク』やる気を引き出す言葉の力』と題して、日本ペップトーク普及協会の堀寿次先生の講演がありました。

さて、皆さんは、「ペップトーク」という言葉を聞いたことはありますか？



「ペップトーク」とは、元々は試合前や本番前の選手や部下、子どもたちなどに向けて、監督やコーチ、上司、家族や先生など指導的な立場にある人がかける激励のショートスピーチのことです。「ペップ」とは、「陽気・元気・活気・活力」というような意味で、ペップトークは緊張や不安をやる気に変え、本来持つ力を最大限に引き出すコミュニケーションを意味します。

ペップトークには型があり、相手の気持ちや状況をまず受け入れる(受容)、次に捉え方を変換して認める(承認)、そして前向きな表現で働きかけ(行動)、最後に相手の立場になつて背中をひと押しする(激励)、この四つのステップを大切にするのが、極意だそうなんです。皆さんにもこれまでの人生の中で、監督やコーチ、上司、家族や先生などからもらった、流れを変えてくれた「声かけ」、勇気を与えてくれた「ひとこと」が存在していると思います。

保護者の皆さんも子どもたちに対して、前向きにな

するような声かけをしてみてはいかでしょうか？明日からでも実践してみてください。きっと、子どもたちはやる気が増し能力を発揮してくれると思います。

高校総体視察

つなぐ、つながる

PTA会長 馬場 仁志

五月三〇日（金）、『一步一投一振 魂込めた一瞬を』をスローガンに掲げた第七七回長崎県高校総合体育大会の総合開会式が佐世保市体育文化会館で行われました。

熱中症予防などのために初めての屋内開催となりました。太鼓部と書道部の合同パフォーマンスや吹奏楽部によるマーチングといった歓迎アトラクションによる華やかな幕開けとなり、選手は各校十人と上限がありました。力強く体育館を一周していました。



五月三十一日（土）は、佐世保西高校で開催された女子バレーボールの応援へ行きました。五島南高校対豊玉高校（対馬市）の離島勢対決。一セット目は、会場の雰囲気にもまれ、緊張で身体が動かずガチガチで振るわず一三対二五でセットを奪われました。続く二セット目は、会場の雰囲気にも慣れ、自分たちのバレーができ、二五対二三の接戦でセットをものにしました。最終三セット目は、終盤五連続ポイントで自分たちのペースで優位に進め、二五対一三で勝利。第二、

第三セットとも手に汗握る展開となったこの試合、選手たちは最後の最後まで諦めず、二点差ギリギリで辛くも勝利を掴むことができました。まるで優勝したかのように全員で喜び合う姿がとても印象的でした。二回戦の対戦相手はシード校の島原商業。自分たちのバレーができないまま、九対二五、五対二五のストレート負け。それでも、試合中、選手たちは、持ち前の粘り強さを発揮し、苦しい時間でもキャプテンを中心に声をかけ合い、全員で戦い抜きました。

一セット、一試合ごとに歓喜あり涙あり。「青春」のひとつときをともに過ごすことができました。

六月一日（日）、二日（月）は諫早市に移動し、トランス・コスモスタジアムへ男女陸上部の応援に行きました。男子UOMと女子UOMでは、「オン・

ユア・マークス」「セット」の合図後、一瞬の緊張感を破る雷管の号砲とともにスタートダッシュし、コースを颯爽と駆け抜け、ゴールテープを切るその瞬間まで、自分の自己ベストを一秒でも更新しようと果敢に攻める姿勢が印象的でした。

高校総体を通して、最後まで諦めない姿、自分との戦い、そして何より学校の名に恥じないよう全力を尽くす頼もしさを間近で見ることができました。明日へつなぐ、後輩へつなげる大会を応援させていただきます。ありがとうございました。

青春万歳！

PTA副会長 野中真由子

昨年に引き続き、大迫力の吹奏楽部隊の演奏に乗せ、伸びた背筋、綺麗に揃った入場行進。いよいよ始まる緊張と不安気な表情に、改めてこちらも身が引き締まります。

五月三十一日（土）は佐世保西高校の体育館で行われたバレーボールの応援に行きました。今年もぎりぎりの選手人数で相手の豊玉高校がとても強そうに見えます。三年生二名・二年生六名の部員ですが二年生の中には、この大会の為に駆けつけてくれた二名を含みます。四月からたった二ヶ月程度の練習でこの本番、大舞台に臨みます。一セット目は、

皆、下向きの表情です。応援席からの声も届いていない様子。二セット目、少し表情が変わりました。必死でボールを追い駆けてラリーも続くようになりました。そして！キャプテンのサーブが気持ちいい程、決まります！三点、四点、五点と点を重ね：：ナント！二五対二三で勝利。三セット目へ持ち込みました。またまた、選手たちの表情が変わりました。「絶対に勝つ！」と言う意気込みが見えます。新旧の校長先生も来てくだ

さりと大興奮で応援します。どんどん点を重ね、あつという間に二五対一三で完全にこちらのペースで一回戦突破！二回戦の相手は、島原商業高校。応援団も大勢で、顧問も怖そうで、選手も強そう……圧倒されてしまいました。でも……それでもボールを追い駆けます……が、ラリーは続きません。顧問が何かアドバイスをしました。すると、彼女たちの表情がガラリと変わり、笑顔です。高く上がるボール、繋ぐとする動き、コート内の声掛け、顧問は終始笑顔で選手に声をかけます。惜しくも負けてしまいました。最後まで諦めなかつた自身を褒めるかのように皆清々しい表情です。今年もまた、選手の皆さん、青春万歳！感動をありがとう。お疲れさまでした。



地域清掃5月15日（木）



1年保護者 扇山 聖

子供達は草の中から空き缶、燃えるゴミ、鉄板、たばこの吸い殻を上手に探し出していました。思っていたよりゴミがあつて、なぜこのゴミがここに？というゴミがあり、笑える場面もありました。子供達が通う学校の周りがキレイになった事はうれしい事でした。

1年保護者 森 貴嗣

娘が学校でどの様に過ごしているのかを見たくて参加しました。クラスのみんなと協力し合いながら地域清掃をする姿を見て安心

しました。普段何気なく通っている場所に多くのゴミがあることに驚きました。環境への意識も高まり、いい思い出になりました。

2年保護者 馬場 仁志

開始十分後に、山の中から缶ビール大量放棄を発見！「クセー」と言いながらも、みんなで協力しながら、回収することができました。子どもたちと川、田んぼ、畑と自然を満喫しながら行う地域清掃は、とても楽しかったです。特に、男子生徒が唄ってくれた「津軽海峡冬景色」は参加者全員を楽しくしてくれました。

2年保護者 貞方 智世

少し暑いかな？とも思う日でしたが、学校周辺の景色を楽しみながらゆったりとした気分で活動できました。わが子とは毎日顔を合わせているのであまり感じないのですが、子ども達の顔つきがだんだんと大人に近づいてきていて、成長を実感

できた一日でした。

3年保護者 早川 和哉

マラソン大会コースでもある白石方面の清掃を行いました。川沿いには漂着ゴミが多くあり拾い集める生徒たちの姿に地域への愛を感じました。活動中には、地域の方から「ありがとうございます」と声をかけて頂き、地域社会の美化と地域への感謝の気持ち伝え改めて思いました。

三年生面接練習

めっちゃ緊張したー！

PTA会長 馬場 仁志

『コンコンコン』とドアをノックする音に続いて、「失礼します！」と緊張した面持ちで教室に入ってきた生徒。「五島南高等学校から参りました〇〇です。よろしくお願いします。」「どうぞお座りください。」と、七月三〇日（水）の午前中、PTAによる模擬面

接練習が始まりました。



あらかじめ学校からご用意していただいた「志望理由」・「高校生活で頑張ったこと」・「自己PR」などについて質問させていたいただきました。立ち居振る舞いや質問への受け答えの仕方やその内容にわたり、社会人の立場からアドバイスをさせていただきました。いつもは先生方が面接官を務められていますが、普段から顔を合わせているため、お互いに慣れが生じ、甘さも出てきてしまいます。当日は、『知らないおじさん』である私が面接官の一人として目の前にいることで、生徒たちにとっては、いつ

もとは違う本番さながらの雰囲気の中で模擬面接となったのではないでしょう。言葉につまりながらも、質問に対して一生懸命に自分の思いを語られ、一人ひとりの真剣さ、素直さがひしひしと伝わってきました。面接終了後には、「めっちゃ緊張したー！」と本音がポロリ、廊下に響いていました。生徒たちは、今回の経験を活かし、自信を持って進学・就職試験に挑戦してくれることと思います。三年生の皆さんの頑張りを実を結ぶよう、応援しています。

面接練習に参加して

PTA副会長 貞方 智世

七月下旬に「三年生就職希望者面接練習」のお手伝いをさせていただきました。これはPTA活動の一環として位置づけられていて、実際に社会で活躍をされている方に面接官を依頼して行っている取り組みだそうです。私自身、フルタ

イムでの仕事を離れてずいぶんの時間がたっているのどこまでお役に立っているかは半信半疑での参加でした。それでも、生徒たちはいつもは先生方が面接官として練習を行っている中、今日はいつもの面接練習とは違うぞ』というのを感じました。緊張した面持ちで練習に臨んでいました。



ひとり十分程度、質問も三つ四つと短い時間の中で、自分がこの進路を選択した理由を相手にわかるように伝える。その難しさに対して、真摯にそして一生懸命に向き合っていることがとてもよく伝わってきました。緊張のあまりこれまで練習してきた立ち居振る舞いを忘

れてしまったり、尋ねられた質問の答えからは少しずれてしまったりということもありはしましたが、それはこれからの練習次第で十分に挽回できることだと思います。

生徒のみなさんには、

今回の練習をとおして感じたことを活かし十分な練習と自信をもって面接に挑戦してほしいと思います。

体育祭10月5日(日)



PTA競技に参加して

・できる事を一緒に！ほんの一言でも他の保護者の方とのつながりがもてる、良い機会だと思います。

・市外から来ている者としては、何かしら参加できる物があるのは楽しみです。

・子供達の元気に負けそうになりましたが、楽しく参加することができて良かったです。



お知らせ

RUN & WALK

今年度よりマラソン大会の名称を変更し一四日(金)にRUN & WALKを行います。今年度も生徒への炊き出し(豚汁)を実施します。愛情のこもった豚汁は、体も心も温まるもので、毎年大好評です。参加された保護者の皆様から、お子様を応援することができ、貴重な時間となつたとのお声をいただきました。炊き出しの協力依頼に関する文書をLINE連絡網で配信しております。多くの保護者の方にご協力をお願いしたいと思います。



昨年度の様子